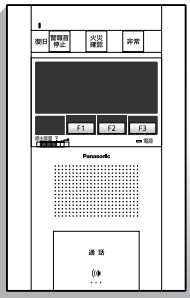
Panasonic

マンションHA　Vシリーズ

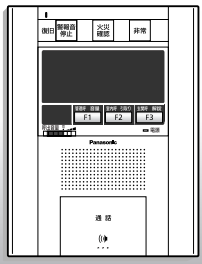
セキュリティインターホン 1M型・3M型

施工説明書(住戸部)

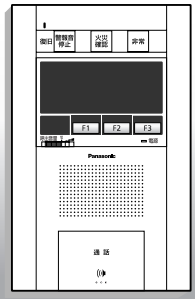
セキュリティインターホン1M型(埋込型)



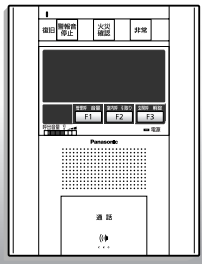
セキュリティインターホン1M型(露出型)



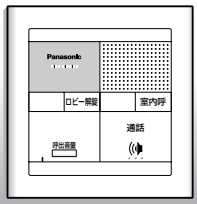
セキュリティインターホン3M型(埋込型)



セキュリティインターホン3M型(露出型)



セキュリティインターホン3M型通話副親機



施工される前に

- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●施工するには、電気工事士・消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書および設定マニュアルなどをお渡しください。
- ●保証書に必ず必要事項を記入してください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解(指定以外の分解)、修理・改造しない。** 感電の原因となります。
必ず守る	**必ずマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で施工する。** 活線工事は感電や故障の原因となります。 注 **異常時「切」スイッチ(27ページ参照)はAC100V1次側の電源を切るスイッチです。〔非常電源の電源は切れません。〕**
	ヒューズ交換は電源を切った状態で行う。 電源を切らないと、感電の原因となります。
	AC100V用電源線は確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
禁止	**水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。** 感電の原因となります。
	小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 1
付　属　品 3
施工上のご注意 4
機　能　一　覧 5~6

取付・配線方法

取 付 方 法 7~14
●親機(埋込型)の場合 7~9
●親機(露出型)の場合 10~12
●通話副親機の場合 13~14

配 線 方 法 15~24
●マンションHA統合盤との接続(共同住宅用(SHGT品番)の場合) 15
●マンションHA統合盤との接続(住戸用(SHGB品番)の場合) 16
●警報監視盤・システム制御装置・住棟受信機(当社受信機)との接続(共同住宅用(SHGT品番)の場合) 17
●警報監視盤・システム制御装置との接続(住戸用(SHGB品番)・一般集合住宅(SHG品番)・住戸用(住戸完結)(SHGB品番)の場合) 18
●住戸内(警報表示付ドアホン子器・感知器など)の接続 19~22
●住戸内(通話副親機)の接続(セキュリティインターホン3M型の場合) 23
●モニターテレビユニットとの接続 24
●SHGB10555W・SHGB10655Wの場合のコール用押釦の配線方法 24

配線可能距離 25~26
●非常電源 配線系統図 26

適合ガスもれ警報器 26

機能設定

機 能 設 定 27~29
●親機(埋込型)・親機(露出型)の場合 27~28
●通話副親機の場合 29

その他

施工後の確認方法 30

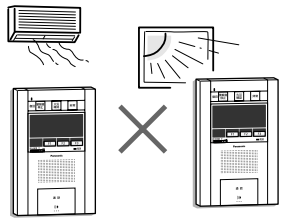
付属品

品種 / 部品名	3M型 親機 (埋込型)	3M型 親機 (露出型)	1M型 親機 (埋込型)	1M型 親機 (露出型)	一般集合 住宅用 1M型親機 (埋込型)	一般集合 住宅用 1M型親機 (露出型)	住戸用 (住戸完結) 1M型親機 (埋込型)	3M型 通話 副親機
取付用 なべ小ネジ (M4×25)	4本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	—
終端抵抗器 (3kΩ)	1本	1本	1本	1本	—	—	1本	—
専用 ブレーカー 表示ラベル	1枚	1枚	1枚	1枚	—	—	1枚	—
通話副親機 接続用 コネクタ付 リード線 (6P)	1本	1本	—	—	—	—	—	—
コネクタ付 リード線(2P) 〔増設スピーカー・外部防犯セット スイッチ用〕	1本	1本	1本	1本	1本	1本	1本	—
取扱説明書	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊	—
保証書	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	—
お客様 ご相談窓口の ご案内	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	—
操作説明書	1枚	1枚	1枚	1枚	—	—	1枚	—
施工説明書 (本書)	—	—	—	—	—	—	1冊	—
設定マニュアル	—	—	—	—	—	—	1枚	—
書き込み 設定シート	—	—	—	—	—	—	1枚	—

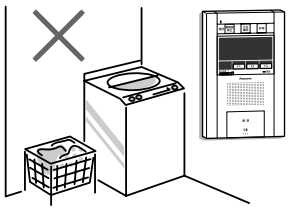
施工上のご注意

●住戸用自火報設備として、所轄消防署の指導により住棟受信機を接続する必要がある場合は、統合盤がご使用になれます。住戸用(SHGB品番)の場合のみ
●この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
●住戸番号の重複設定はしないでください。各警報および統合盤または警報監視盤との通話ができなくなったり、統合盤、警報監視盤でトラブルが発報します。
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●親機〔共同住宅用(SHGT品番)〕と接続する住棟受信機の回線は住棟受信機の蓄積切替スイッチを「非蓄積」側に設定してください。「蓄積」側で使用すると火災が発生した場合、正常な火災警報動作をしません。共同住宅用(SHGT品番)の場合のみ
●故障の原因となりますので、強い衝撃や振動を与えないでください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

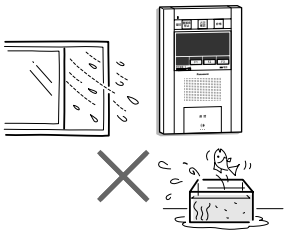
親 機 次のような場所には設置しないでください。 (誤動作や故障の原因となります。)



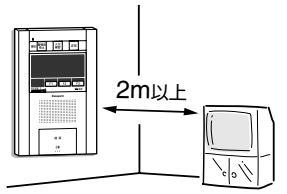
極端に寒い場所・暑い場所
〔冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所〕



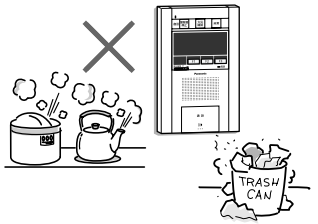
密閉された狭い場所 (脱衣所・トイレなど)
●音が反響して、ハウリング(ピー音がして通話ができなくなる)の原因となります。



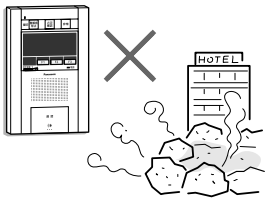
水や雨がかかる場所 (屋外など)
●感電の原因となります。



テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く(2m以上離してください。)
●映像や音声が乱れる場合があります。



直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所(浴室など)
ゴミやホコリの多い場所



硫化水素の発生する場所 (温泉地など)
●寿命が短くなることがあります。

●図は共同住宅用(SHGT品番)(親機)の場合を示します。

機能一覧

(注) ご採用物件の仕様により各機能がない場合があります。

種別	タイプ	形状	品番	オートロック ※1	管理呼	室内間通話	非常警報	ガスもれ警報(CO機能付) ※2	火災警報	コール ※3	コール(表示保持押釦) ※4	防犯(暗証番号解除)	非常警報(増設)	過電流警報 ※5	過電流レベル表示 ※5	一斉放送	受話器増設	宅配
共同住宅用	1M型親機	露出型	SHGT63405W	○	○	—	○	○	○	—	—	—	1回路	—	—	—	○	○
			SHGT63415W	○	○	—	○	○	○	—	—	2回路	1回路	—	—	○	○	○
			SHGT63425W	○	○	—	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
	3M型親機		SHGT73425W	○	○	○	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
	1M型親機	埋込型	SHGT13405W	○	○	—	○	○	○	—	—	—	1回路	—	—	—	○	○
			SHGT13415W	○	○	—	○	○	○	—	—	2回路	1回路	—	—	○	○	○
			SHGT13425W	○	○	—	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
			SHGT13525W	○	○	—	○	○	○	3回路	—	—	1回路	○	—	○	○	○
			SHGT13625W	○	○	—	○	○	○	3回路	—	—	1回路	—	○	○	○	○
	3M型親機		SHGT23425W	○	○	○	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
住戸用	1M型親機	露出型	SHGB63405W	○	○	—	○	○	○	—	—	—	1回路	—	—	—	○	○
			SHGB63415W	○	○	—	○	○	○	—	—	2回路	1回路	—	—	○	○	○
			SHGB63425W	○	○	—	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
	3M型親機		SHGB73425W	○	○	○	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
	1M型親機	埋込型	SHGB13405W	○	○	—	○	○	○	—	—	—	1回路	—	—	—	○	○
			SHGB13415W	○	○	—	○	○	○	—	—	2回路	1回路	—	—	○	○	○
			SHGB13425W	○	○	—	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
			SHGB13525W	○	○	—	○	○	○	3回路	—	—	1回路	○	—	○	○	○
			SHGB13625W	○	○	—	○	○	○	3回路	—	—	1回路	—	○	○	○	○
	3M型親機		SHGB23425W	○	○	○	○	○	○	2回路	—	—	1回路	—	—	○	○	○
一般集合住宅用	1M型親機	露出型	SHG63205W	○	○	—	○	○	—	—	—	—	1回路	—	—	—	○	○
	1M型親機	埋込型	SHG13205W	○	○	—	○	○	—	—	—	—	1回路	—	—	—	○	○
共通	3M型通話副親機	埋込型	SHG31085W	○	—	○	—	—	—	—	—	—	1回路 ※6	—	—	—	—	—
住戸用(住戸完結) ※7	1M型親機	埋込型	SHGB10525W	—	—	—	○	○	○	3回路	—	—	1回路	○	—	—	○	—
			SHGB10555W	—	—	—	○	○	○	—	3回路	—	1回路	○	—	—	○	—
			SHGB10625W	—	—	—	○	○	○	3回路	—	—	1回路	—	○	—	○	—
			SHGB10655W	—	—	—	○	○	○	—	3回路	—	1回路	—	○	—	○	—

※1 設定によりオートロック解錠機能を無効にすることもできます。

※2 CO機能はガスもれ警報器(CO機能付)が設置されている場合に動作します。

※3 SHGT品番の親機はコール回路(2回路または3回路)のうち、1回路をスプリンクラーとして設定することができます。
ただし、予作動式スプリンクラー対応はUオーダー品となります。

※4 コール用押釦はSHS品番の表示保持付タイプをご使用ください。
他の押釦は使用できません。

※5 過電流警報装置付分電盤との接続が必要です。レベル表示の場合は警報ユニットBタイプ、警報表示のみの場合は警報ユニットAタイプの分電盤をご使用ください。

※6 コール回路または非常(増設)のいずれかに設定して使用することができます。
スプリンクラー回路に設定することはできません。

※7 統合盤または警報監視盤・システム制御装置に接続することはできません。

取付方法

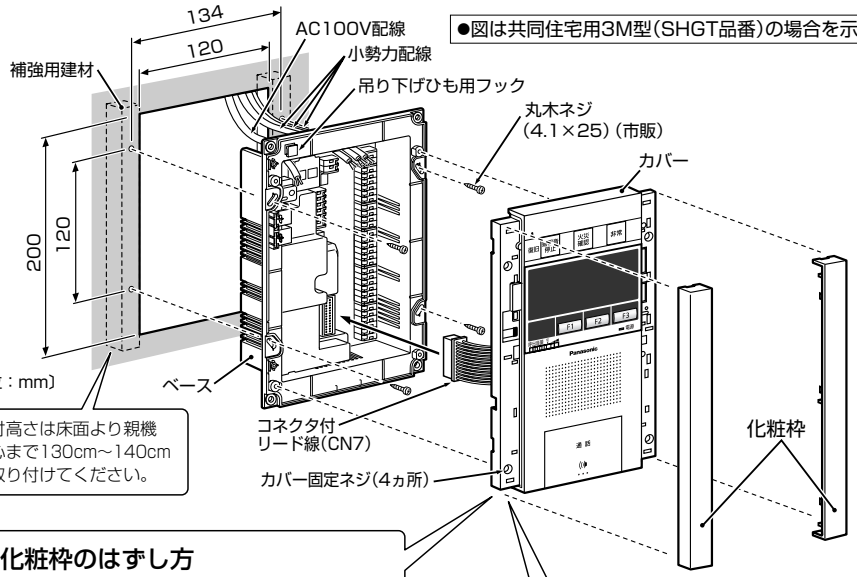
親機(埋込型)の場合

(注) コネクタ付リード線(CN7)を接続するときは、必ずマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で接続してください。電源を切らないと、故障の原因となります。

ボックスなし取付の場合

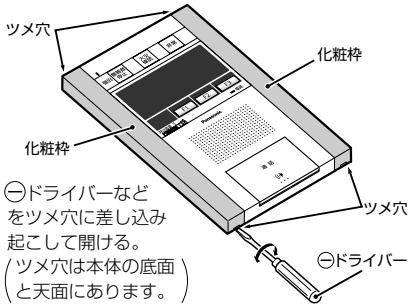
1. 壁面に下記寸法の穴をあけ、取付補強用建材を取り付ける。
2. 本体両端の化粧枠をはずし、カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
3. コネクタ付リード線(CN7)と吊り下げひもをはずし、カバーとベースを分離する。
4. ベースに電線を入線後、市販の丸木ネジ(4.1×25)4本で壁面に固定する。
5. 配線工事をする。(配線方法 ➡15～24ページ)
6. カバーのコネクタ付リード線(CN7)を、ベースのコネクタ受けに差し込む。
7. 吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。
8. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。
9. 化粧枠を取り付ける。

●図は共同住宅用3M型(SHGT品番)の場合を示します。

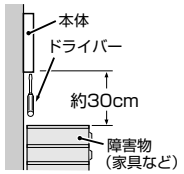


取付高さは床面より親機中心まで130cm～140cmに取り付けてください。

■化粧枠のはずし方

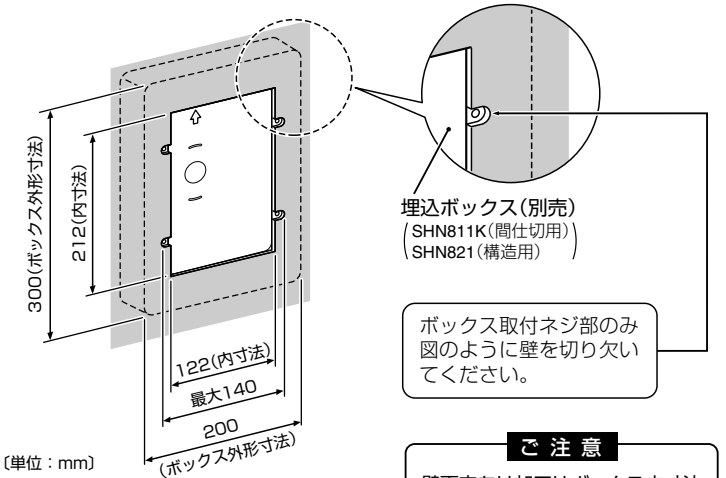


●本体底面および天面のツメ穴に⊖ドライバーなどを差し込んで化粧枠を取りはずすため本体の下または上から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



●ハンドセットを増設する場合がありますので、本体の左側5cm以内には障害物がないところに取り付けてください。左側に障害物がある場合は、操作性を考慮し10cm以上離して取り付けることをおすすめします。

ボックス取付の場合



ボックス取付ネジ部のみ図のように壁を切り欠いてください。

ご 注 意

壁面穴あけ加工はボックス内寸法にて行いユニット取付ネジ部を切り欠き加工してください。

●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ベースを付属の取付用なべ小ネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。
そのほかはボックスなし取付と同じです。

ヒューズの交換方法(ベースの中にあります。)

⚠警告

ヒューズ交換はマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で行ってください。

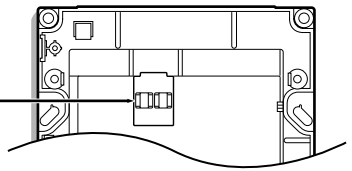
電源を切らないと、感電の原因となります。

必ず守る

ヒューズ交換 カバーをはずして行ってください。

交換ヒューズ
定　　格：AC250V 2A
サ イ ズ：20mm φ5
溶断特性：耐ラッシュ型

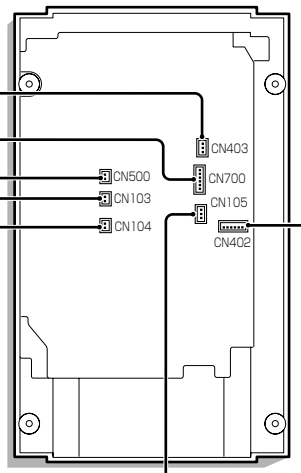
<親機のベース>



コネクタへの接続

注 コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。
斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。

<親機のカバー裏面>



モニターテレビユニット接続用コネクタ(CN403)

モニターテレビユニットを接続する場合に使用します。

- ●詳細は24ページを参照してください。
- ●モニターテレビユニット接続用コネクタ付リード線(3P)は接続するモニターテレビユニットに付属しています。

通話副親機接続用コネクタ(CN700)

通話副親機を接続する場合に使用します。

- ●3M型親機のみ使用可能です。
- ●詳細は23ページを参照してください。
- ●通話副親機接続用コネクタ付リード線(6P)は3M型親機に付属しています。

増設スピーカー接続用コネクタ(CN500)

増設スピーカーを接続する場合に使用します。※1

モニターテレビユニット接続用コネクタ(CN103)

モニターテレビユニットを接続する場合に使用します。

- ●詳細は24ページを参照してください。
- ●モニターテレビユニット接続用コネクタ付リード線(2P)は接続するモニターテレビユニットに付属しています。

外部防犯セットスイッチ入力用コネクタ(CN104)

外部防犯セットスイッチを接続する場合に使用します。
(防犯機能付親機のみ使用可能です。) ※1

代表移報接続用コネクタ(CN105)

代表移報出力を接続する場合に使用します。

- 代表移報接続用コネクタ付リード線は付属していません。

ハンドセット接続用コネクタ(CN402)

ハンドセットを接続する場合に使用します。

- ●詳細はハンドセットに付属の施工説明書を参照してください。
- ●ハンドセット接続用コネクタ付リード線(6P)はハンドセットに付属しています。

※1
- ●増設スピーカー接続用・外部防犯セットスイッチ入力用のコネクタ付リード線としてコネクタ付リード線(2P)(増設スピーカー・外部防犯セットスイッチ用)を1本付属しています。
- ●2本以上必要な場合は、別途お買い求めください。

親機(露出型)の場合

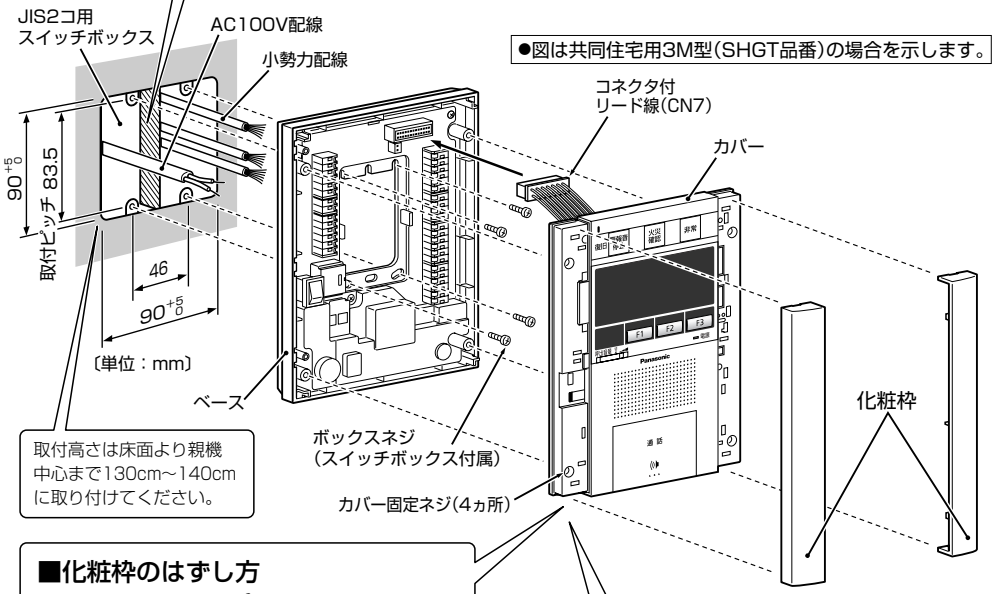
注 コネクタ付リード線(CN7)を接続するときは、必ずマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で接続してください。電源を切らないと、故障の原因となります。

ボックス取付の場合

1. 本体両端の化粧枠をはずし、カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
2. コネクタ付リード線(CN7)と吊り下げひもをはずし、カバーとベースを分離する。
3. ベースに電線を入線後、スイッチボックスに付属のボックスネジ4本で壁面に固定する。
4. 配線工事をする。(配線方法 ➡15～24ページ)
5. カバーのコネクタ付リード線(CN7)を、ベースのコネクタ受けに差し込む。
6. 吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。
7. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。
8. 化粧枠を取り付ける。

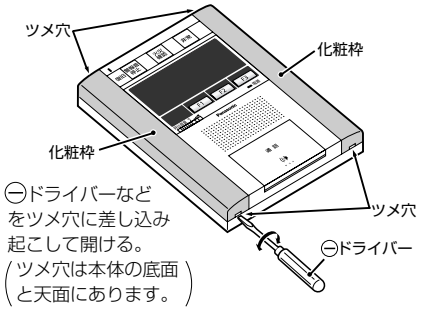
AC100V配線と小勢力配線の間には、内線規程3102-7により、ボックス用絶縁セパレータ(WV2450)(別売)など堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。

●図は共同住宅用3M型(SHGT品番)の場合を示します。



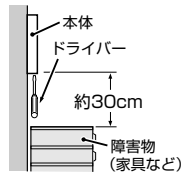
取付高さは床面より親機中心まで130cm～140cmに取り付けてください。

■化粧枠のはずし方



⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

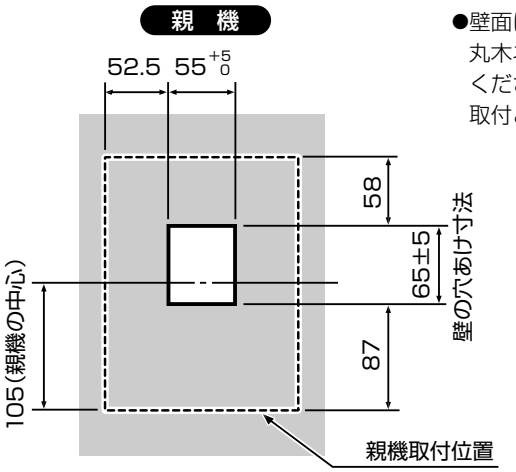
●本体底面および天面のツメ穴に⊖ドライバーなどを差し込んで化粧枠を取りはずすため本体の下または上から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



●ハンドセットを増設する場合がありますので、本体の左側5cm以内には障害物がないところに取り付けてください。左側に障害物がある場合は、操作性を考慮し10cm以上離して取り付けることをおすすめします。

ボックスなし取付の場合

壁の穴あけ寸法



〔単位：mm〕

●壁面に左記寸法の穴をあけて、市販の丸木ネジ(4.1×25)4本で取り付けてください。ほかの取付方法はボックス取付と同じです

注 石こうボードへの取り付けは脱落を防止するため、横木などで補強して取り付けてください。

ヒューズの交換方法(ベースの中にあります。)

⚠警告

ヒューズ交換はマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で行ってください。

電源を切らないと、感電の原因となります。

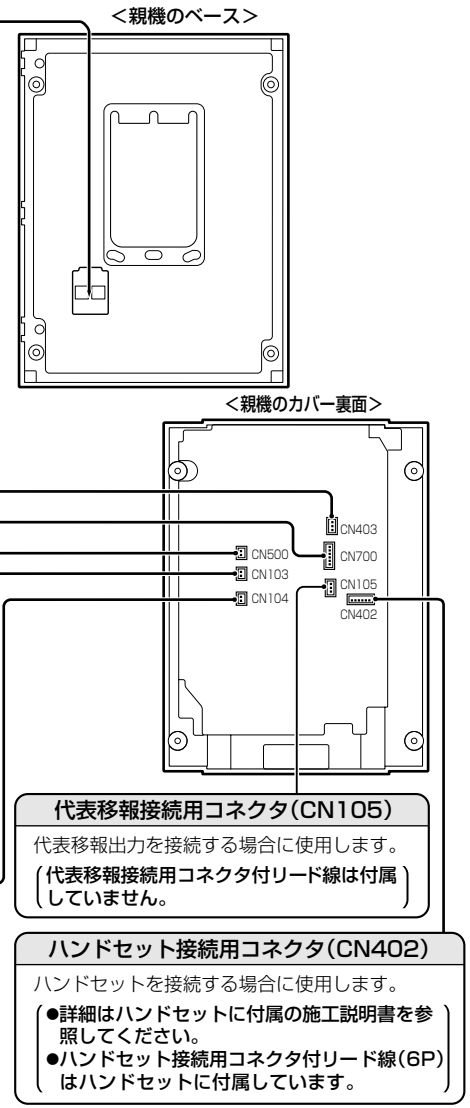
必ず守る

ヒューズ交換　カバーをはずして行ってください。

交換ヒューズ　定　　格：AC250V 2A
サ イ ズ：20mm φ5
溶断特性：耐ラッシュ型

コネクタへの接続

注 コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。
斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。



モニターテレビユニット接続用コネクタ(CN403)

モニターテレビユニットを接続する場合に使用します。

- ●詳細は24ページを参照してください。
- ●モニターテレビユニット接続用コネクタ付リード線(3P)は接続するモニターテレビユニットに付属しています。

通話副親機接続用コネクタ(CN700)

通話副親機を接続する場合に使用します。

- ●3M型親機のみ使用可能です。
- ●詳細は23ページを参照してください。
- ●通話副親機接続用コネクタ付リード線(6P)は3M型親機に付属しています。

増設スピーカー接続用コネクタ(CN500)

増設スピーカーを接続する場合に使用します。※1

モニターテレビユニット接続用コネクタ(CN103)

モニターテレビユニットを接続する場合に使用します。

- ●詳細は24ページを参照してください。
- ●モニターテレビユニット接続用コネクタ付リード線(2P)は接続するモニターテレビユニットに付属しています。

外部防犯セットスイッチ入力用コネクタ(CN104)

外部防犯セットスイッチを接続する場合に使用します。

(防犯機能付親機のみ使用可能です。)　※1

代表移報接続用コネクタ(CN105)

代表移報出力を接続する場合に使用します。

- 代表移報接続用コネクタ付リード線は付属していません。

ハンドセット接続用コネクタ(CN402)

ハンドセットを接続する場合に使用します。

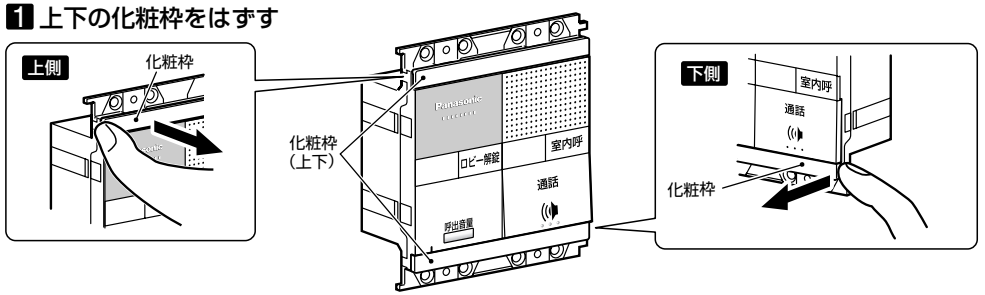
- ●詳細はハンドセットに付属の施工説明書を参照してください。
- ●ハンドセット接続用コネクタ付リード線(6P)はハンドセットに付属しています。

※1
- ●増設スピーカー接続用・外部防犯セットスイッチ入力用のコネクタ付リード線としてコネクタ付リード線(2P)(増設スピーカー・外部防犯セットスイッチ用)を1本付属しています。
- ●2本以上必要な場合は、別途お買い求めください。

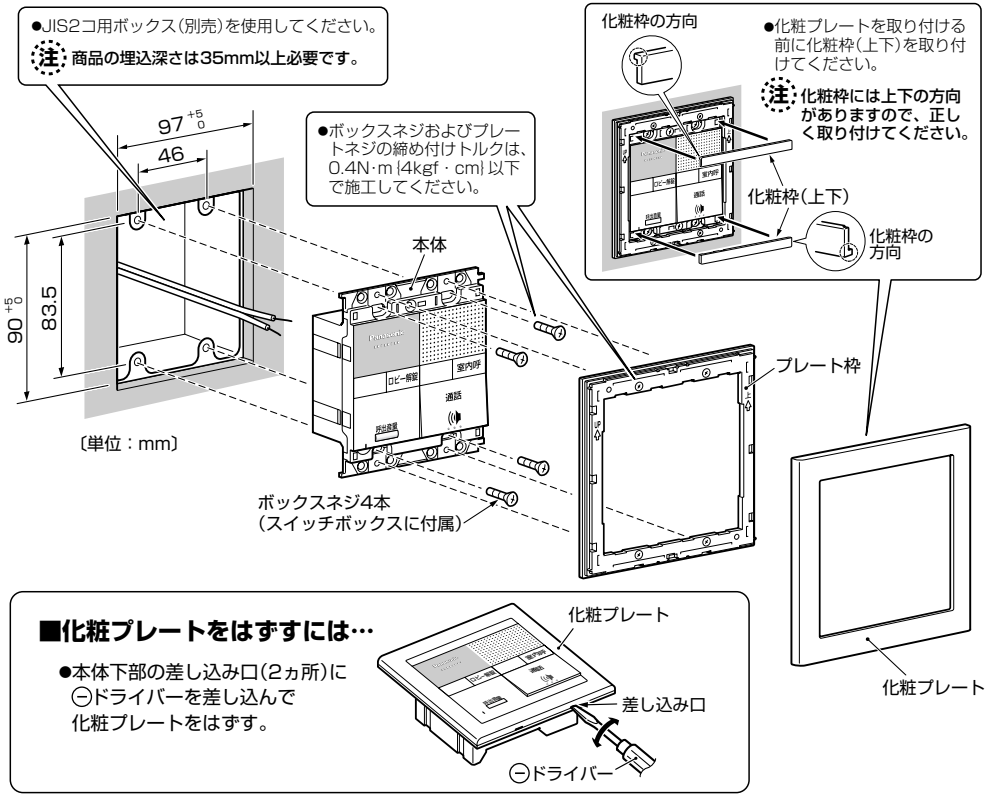
通話副親機の場合

ボックス取付の場合

1 上下の化粧枠をはずす



2 配線をして、本体および化粧プレートを取り付ける



■化粧プレートをはずすには…

●本体下部の差し込み口(2ヵ所)に⊖ドライバーを差し込んで化粧プレートをはずす。

ボックスなし取付の場合

●パネル壁の奥行が35mm以上の場所に取り付けてください。
埋込商品ですので、商品埋込深さおよび配線スペースに注意してください。

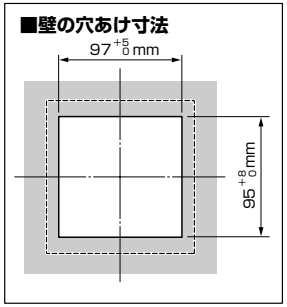
●ほかの取付方法はボックス取付と同じです。

注 石膏ボードへの取り付けは、脱落を防止するため、必ずはさみ金具(別売)を使用してください。

対 象 壁	はさみ金具品番
9～30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3997

※はさみ金具は別売です。

■壁の穴あけ寸法



■はさみ金具を使用した場合の取付金具の取付方法

〔はさみ金具に石膏ボード用取付押え金具(2連用)(9～30mm壁用)(WN3997)(別売)をご使用の場合は下記の手順にしたがって施工してください。〕

①裏側に入れる
●はさみ金具を壁面の裏側に入れる。

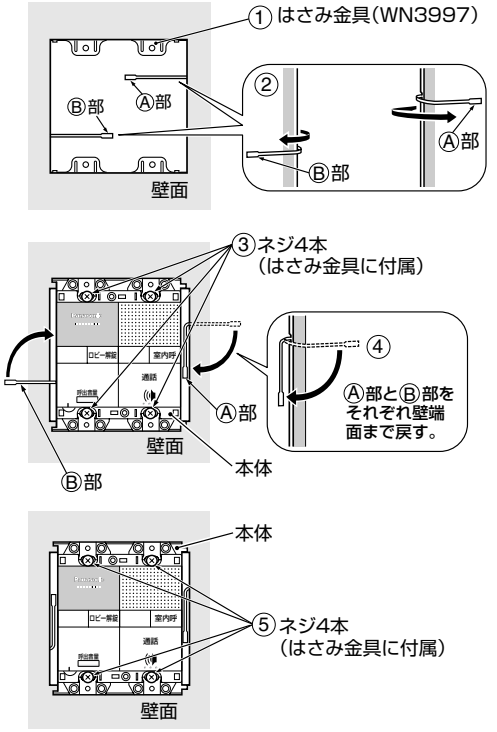
②仮固定する
●Ⓐ部とⒷ部を手で折り曲げ、壁面に仮固定する。

③仮止めする
●本体とはさみ金具をネジ(はさみ金具に付属)で仮止めする。

④戻す
●本体を左右に寄せⒶ部とⒷ部を壁端面まで戻す。

⑤ネジで固定する
●本体とはさみ金具をネジ(はさみ金具に付属)で固定する。

注 Ⓐ部とⒷ部を本体と壁面にはさみ込まないようにしてください。



配線方法

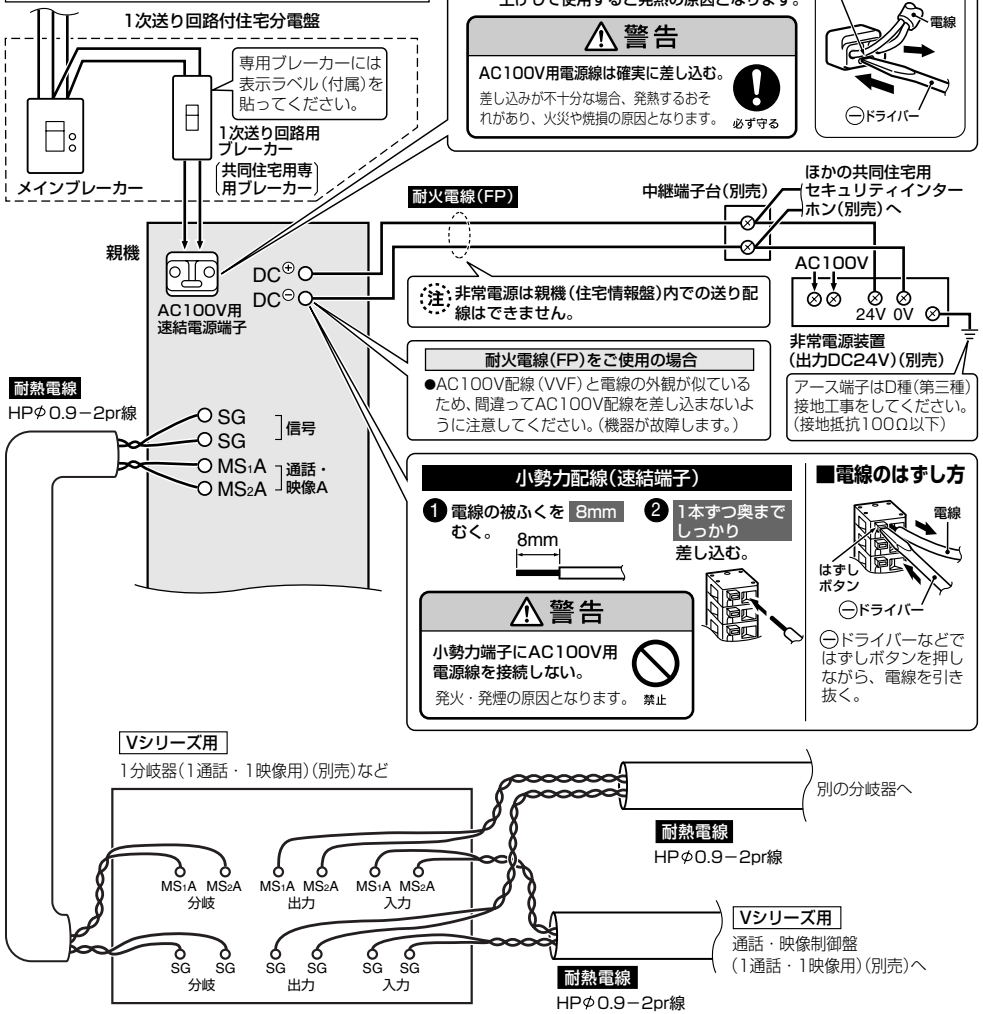
●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

マンションHA統合盤との接続

共同住宅用(SHGT品番)の場合

注 HP線にカッド線は使用できません。

●警報監視盤・システム制御装置・住棟受信機(当社受信機)と接続する場合 ➡17ページ
●住戸内の接続について ➡19～24ページ



AC100V配線

VVFφ1.6 または φ2.0　12mm

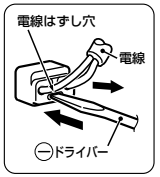
注 より線は使用しないでください。ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

⚠警告

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
必ず守る

■電線のはずし方

⊖ドライバーで電線はずし穴を押しながら、電線を引き抜く。



耐火電線(FP)をご使用の場合

●AC100V配線(VVF)と電線の外観が似ているため、間違ってAC100V配線を差し込まないように注意してください。(機器が故障します。)

注 非常電源は親機(住宅情報盤)内での送り配線はできません。

アース端子はD種(第三種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)

小勢力配線(速結端子)

❶ 電線の被ふくを 8mm むく。　❷ 1本ずつ奥までしっかり差し込む。

⚠警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。
禁止

■電線のはずし方

⊖ドライバーなどではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。

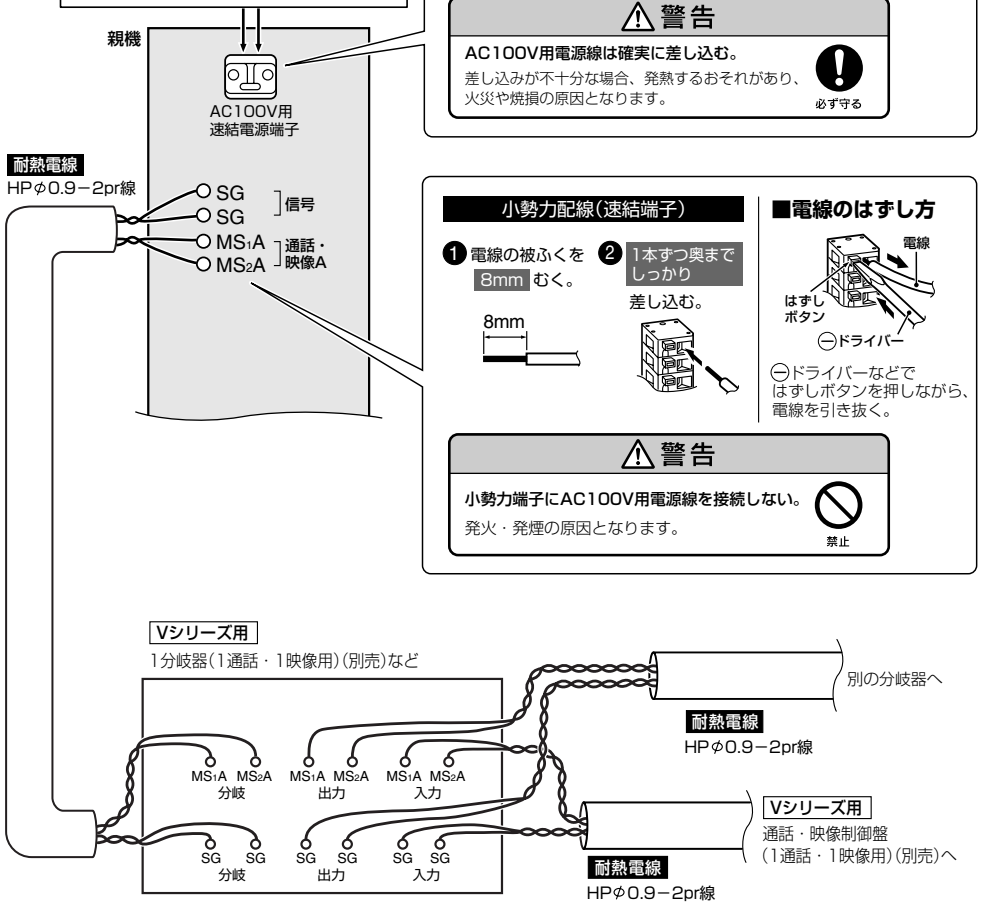
住戸用(SHGB品番)の場合

注 HP線にカッド線は使用できません。

●警報監視盤・システム制御装置と接続する場合 ➡18ページ
●住戸内の接続について ➡19～24ページ

専用ブレーカーには表示ラベル(付属)を貼ってください。

専用ブレーカーよりAC100V電源線を入線



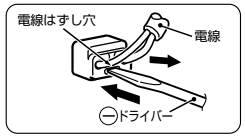
AC100V配線

耐熱電線 φ1.6または φ2.0　12mm

注 より線は使用しないでください。ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

■電線のはずし方

⊖ドライバーで電線はずし穴を押しながら、電線を引き抜く。



⚠警告

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
必ず守る

小勢力配線(速結端子)

❶ 電線の被ふくを 8mm むく。　❷ 1本ずつ奥までしっかり差し込む。

■電線のはずし方

⊖ドライバーなどではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。

⚠警告

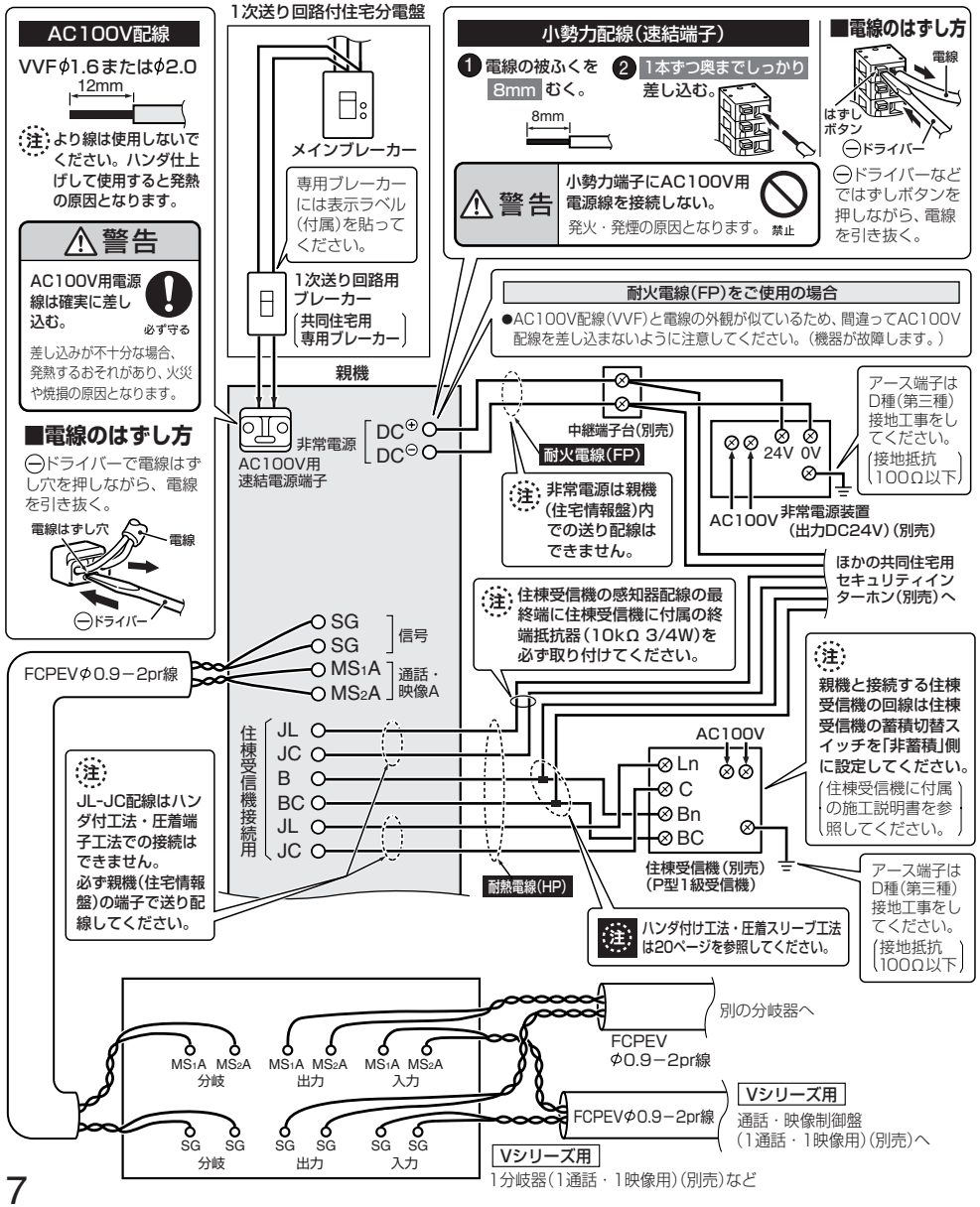
小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。
禁止

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

警報監視盤・システム制御装置・住棟受信機(当社受信機)との接続

共同住宅用(SHGT品番)の場合

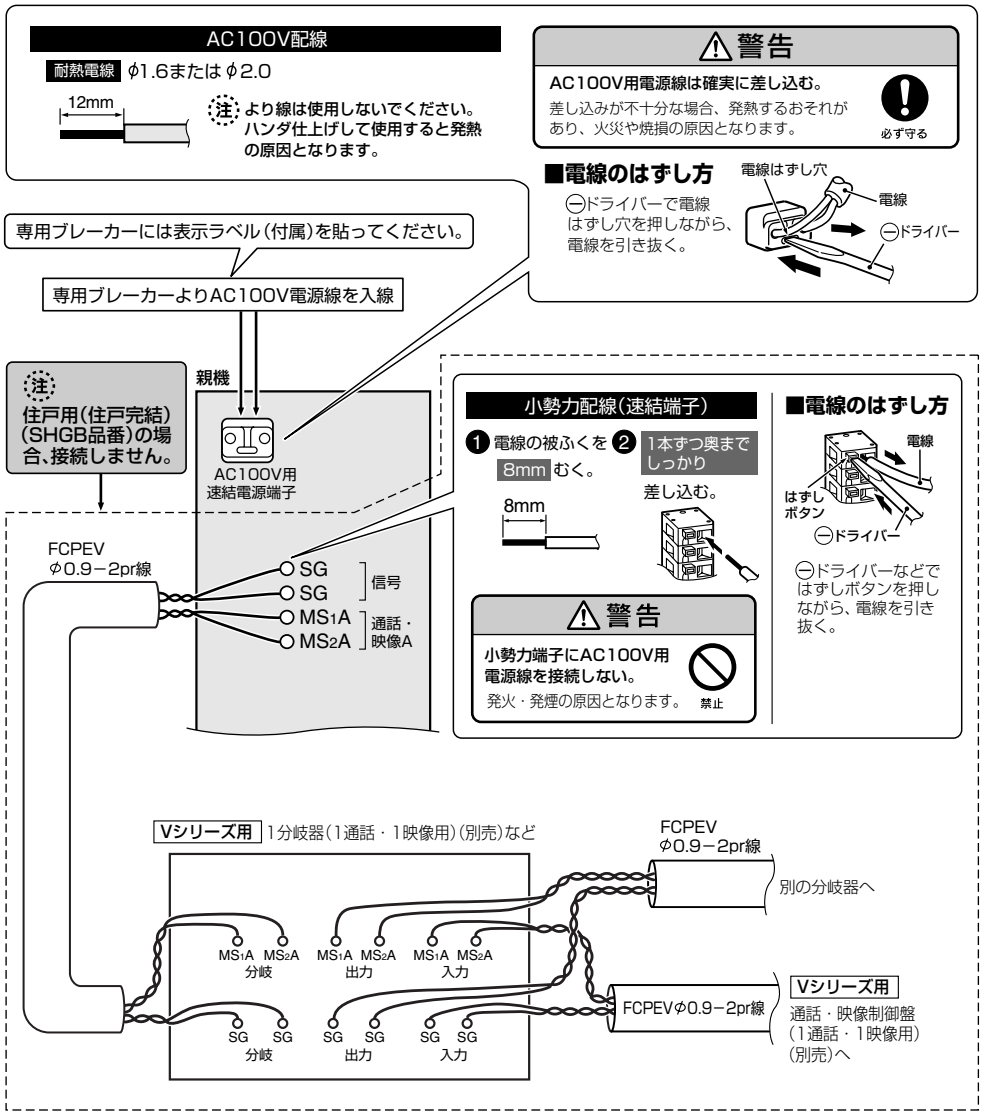
●住戸内の接続について➡19～24ページ



警報監視盤・システム制御装置との接続

住戸用(SHGB品番)・一般集合住宅用(SHG品番)・住戸用(住戸完結)(SHGB品番)の場合

●住戸内の接続について➡19～24ページ



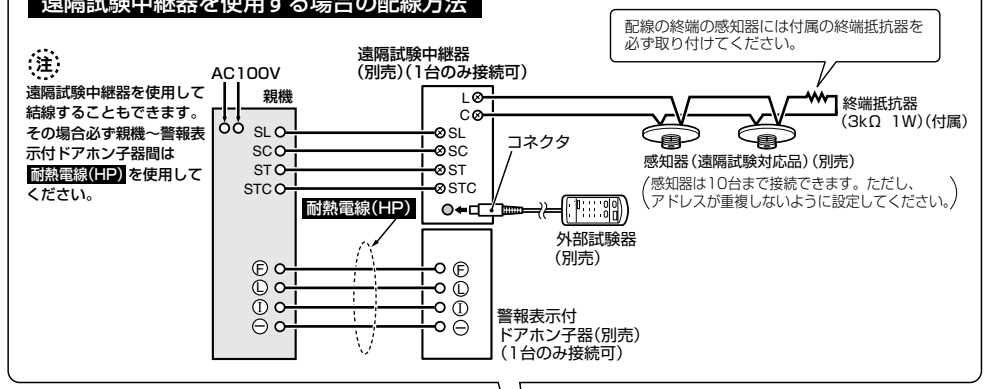
●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

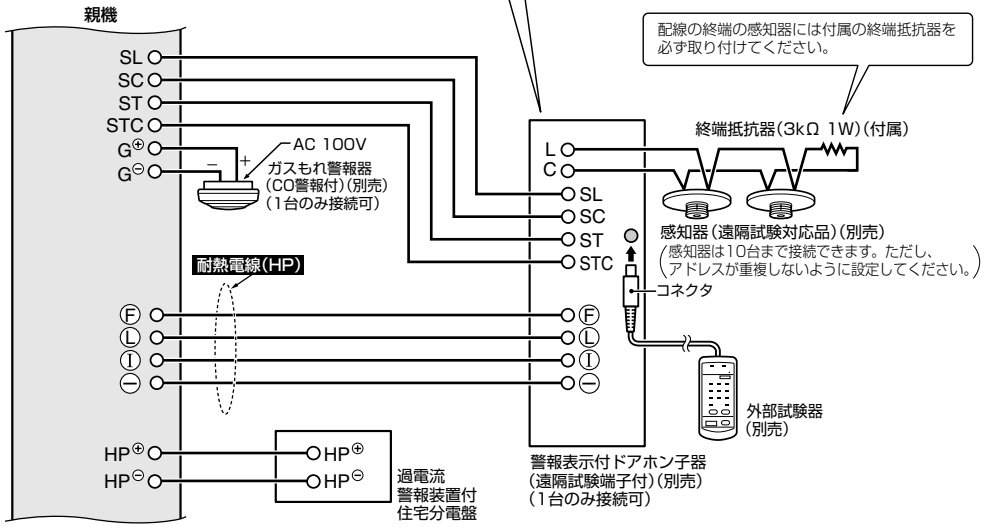
住戸内(警報表示付ドアホン子器・感知器など)の接続

(注) 機種により各機能がない場合があります。

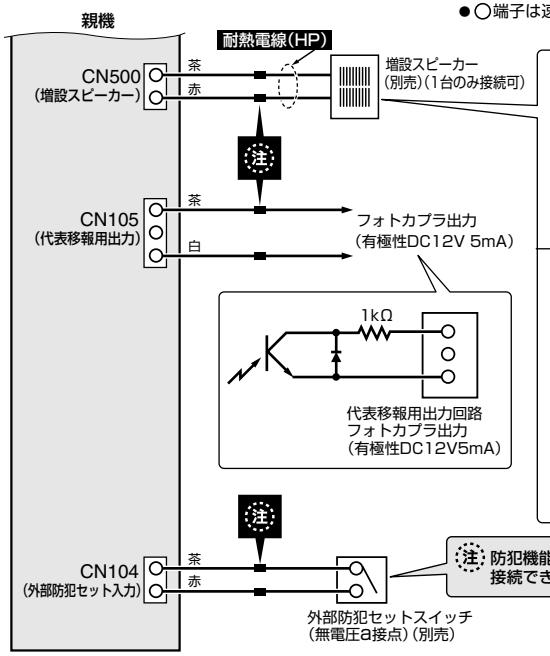
遠隔試験中継器を使用する場合の配線方法

(注) 遠隔試験中継器を使用して結線することもできます。その場合必ず親機～警報表示付ドアホン子器間は 耐熱電線(HP) を使用してください。





●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。



●光る増設スピーカー2台と増設スピーカー1台も接続できます。(光る増設スピーカーは、別途AC100V電源が必要です。)
●補助音響装置として増設スピーカーが不要の場合は、光る増設スピーカーを3台まで接続できます。(光る増設スピーカーは消防法令上の補助音響装置として使用できません。)

3M型親機の場合

●通話副親機を2台接続した場合は、増設スピーカー・光る増設スピーカーとも接続できません。

■接続台数について

	接続台数				
通話副親機	0		1		2
増設スピーカー	1	0	1	0	0
光る増設スピーカー	2	3	2	3	0

(注)

●コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。
●コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。
●電線を接続する場合はハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
●耐熱の配線部分に関しては耐熱処理をしてください。

ハンダ付け工法

❶3回以上巻き付ける。
より線を巻きつける
単線
より線

❷先端を曲げた後、ひげのでないようにハンダ付けする。
ハンダ付け

❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。
テーピング

圧着スリーブ工法

❶電線を並べる。
単線
より線

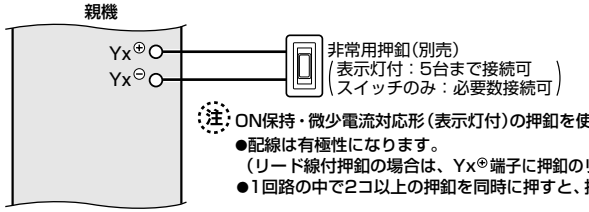
❷完全な圧着をする。
圧着端子

❸半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。
テーピング

■汎用入力回路(Yx⊕端子・Yx⊖端子)を使用する場合の配線方法

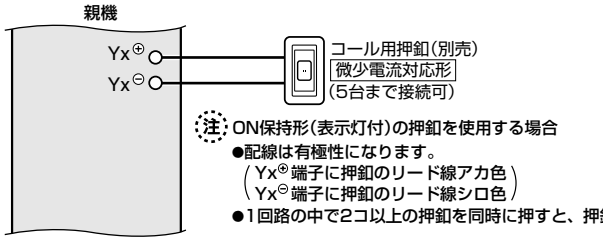
注 ●汎用入力回路は「未使用」「増設非常」「コール1」「コール2」「防犯1」「防犯2」「トイレ」「フロ」「部屋」「スプリンクラー」の設定ができます。詳しくは設定マニュアルを参照してください。
●各機能を複数の回路に重複設定することはできません。ただし、「増設非常」は重複設定が可能です。
●防犯機能付の親機のみ「防犯1」「防犯2」の設定ができます。
●住戸用(SHGB品番)・一般集合住宅用(SHG品番)・住戸用(住戸完結)(SHGB品番)には、「スプリンクラー」を設定しないでください。
●機種により汎用入力回路数は異なります。また、機種により出荷時、汎用入力回路に設定されている機能が異なります。詳しくは書き込み設定シートを参照してください。
●「回路機能設定 回路1 回路2 回路3 回路4 回路5」(➡ 設定マニュアル参照)で設定した 回路1 とY1⊕端子・Y1⊖端子、 回路2 とY2⊕端子・Y2⊖端子、 回路3 とY3⊕端子・Y3⊖端子、 回路4 とY4⊕端子・Y4⊖端子、 回路5 とY5⊕端子・Y5⊖端子が対応しています。(機種により汎用入力回路数は異なります。)
●21～22ページの配線図中のYx⊕、Yx⊖のxには1～5がはいります。(機種により汎用入力回路数は異なります。)

非常に設定した場合



注 ON保持・微少電流対応形(表示灯付)の押釦を使用する場合
●配線は有極性になります。
(リード線付押釦の場合は、Yx⊕端子に押釦のリード線アカ色、Yx⊖端子に押釦のリード線シロ色)
●1回路の中で2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

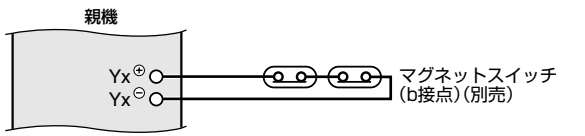
コールに設定した場合(コール機能付親機のみ)



注 ON保持形(表示灯付)の押釦を使用する場合
●配線は有極性になります。
(Yx⊕端子に押釦のリード線アカ色
Yx⊖端子に押釦のリード線シロ色)
●1回路の中で2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

防犯に設定した場合(防犯機能付親機のみ)

注 ● 回路2 回路3 のみ接続可能です。
●「戸締まり表示」(➡ 設定マニュアル参照)を「有」に設定した場合、警戒操作キースイッチまたは警戒操作スイッチは接続できません。



●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

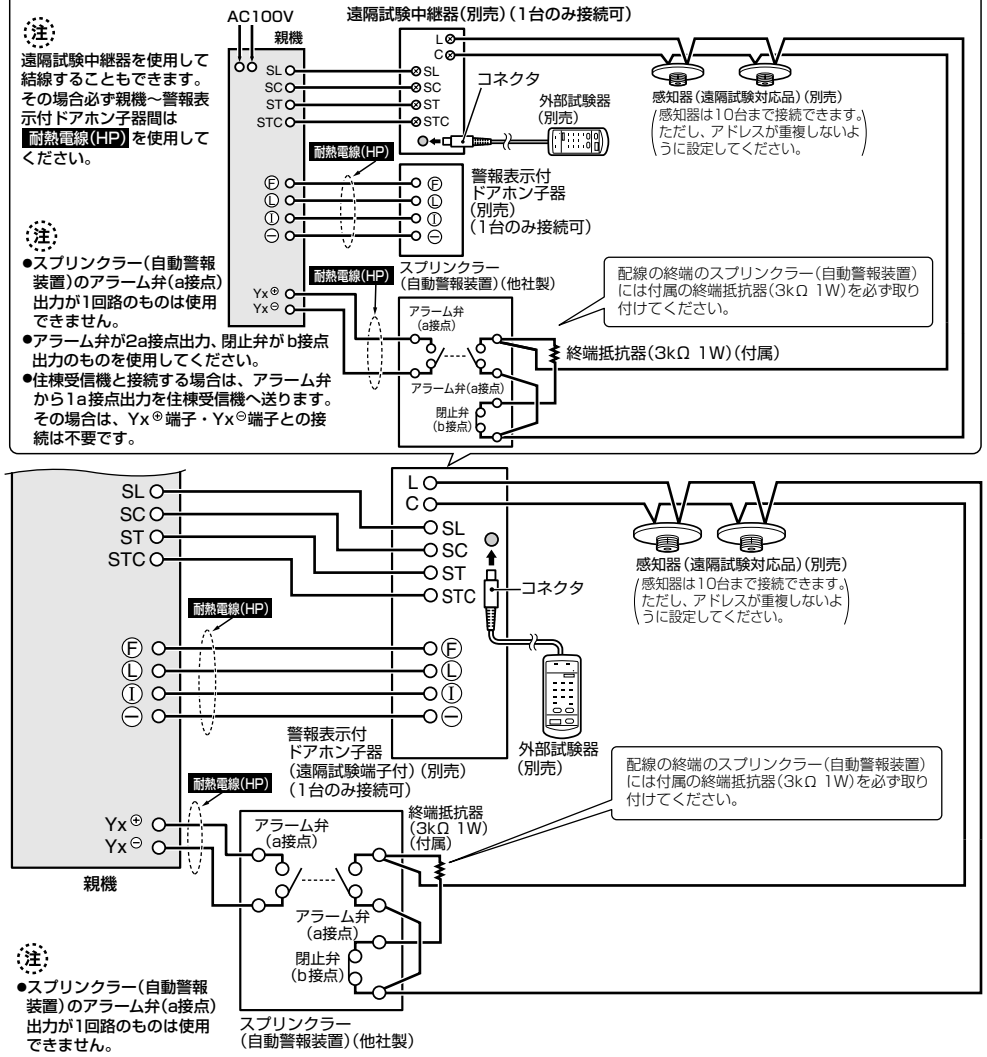
スプリンクラーに設定した場合

共同住宅用(SHGT品番)の場合 (統合盤と接続の場合のみ)

遠隔試験中継器を使用する場合の配線方法

注 遠隔試験中継器を使用して結線することもできます。その場合必ず親機～警報表示付ドアホン子器間は 耐熱電線(HP) を使用してください。

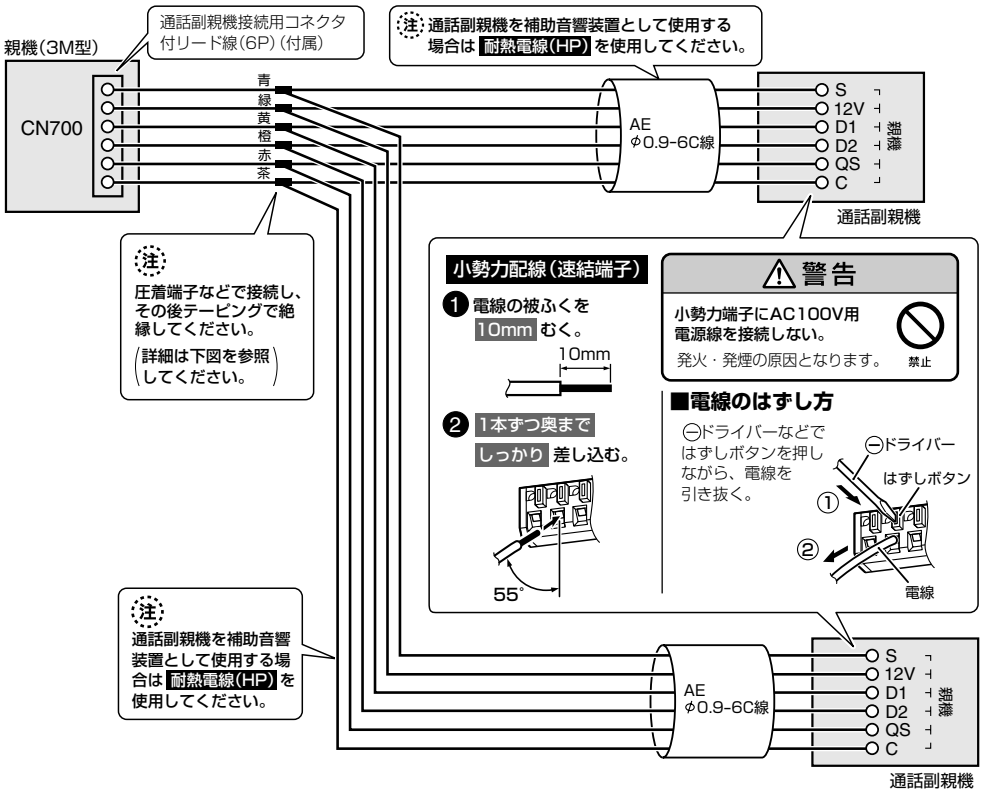
注
●スプリンクラー(自動警報装置)のアラーム弁(a接点)出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。
●住棟受信機と接続する場合は、アラーム弁から1a接点出力を住棟受信機へ送ります。その場合は、Yx⊕端子・Yx⊖端子との接続は不要です。



注
●スプリンクラー(自動警報装置)のアラーム弁(a接点)出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

住戸内(通話副親機)の接続(セキュリティインターホン3M型の場合)

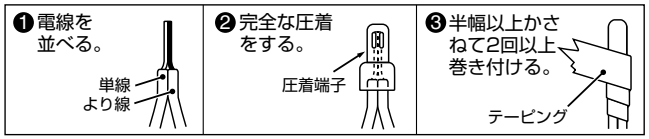
●○端子は速結端子を示します。 ●通話副親機は、2台まで接続可能です。 (注) 3M型親機のみ接続できます。



(注)
- ●コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。
- ●コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。
- ●電線を接続する場合はハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
- ●耐熱の配線部分に関しては耐熱処理をしてください。

ハンダ付け工法

圧着スリーブ工法



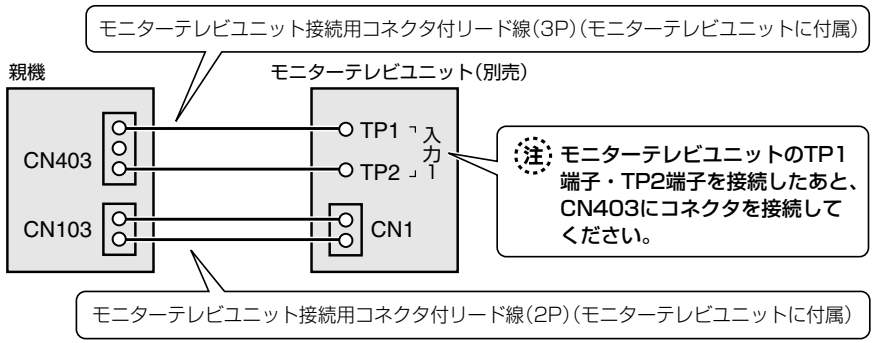
モニターテレビユニットとの接続

●○端子は速結端子を示します。

(注) 「モニターテレビユニット接続設定(設定コード:65)」の設定が必要です。(設定マニュアル参照)

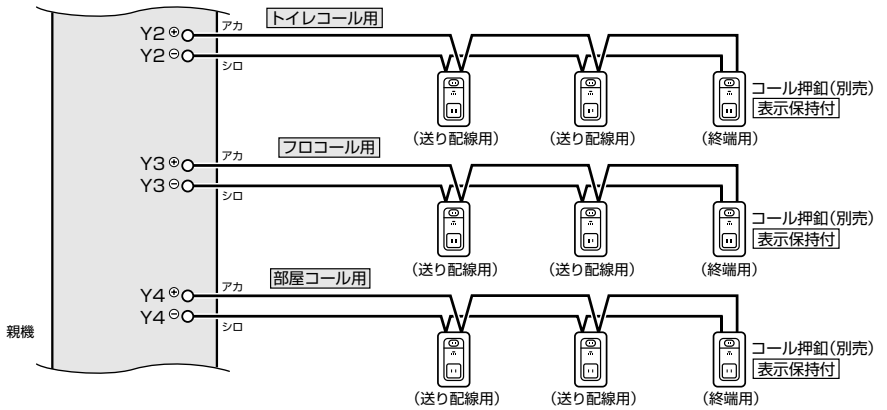
■接続可能なモニターテレビユニット

親機(埋込型)	●カラーモニターテレビユニット(埋込型)(SHN3722W)
親機(露出型)	●カラーモニターテレビユニット(露出型)(SHN3725W)



SHGB10555W・SHGB10655Wの場合のコール用押釦の配線方法

(注)
- ●配線は有極性になります。
- ●コール用押釦は 表示保持付タイプの押釦 を使用してください。
- ●コール用押釦は最大3台まで接続できます。ただし、終端のコール用押釦には必ずコール押釦(終端用)を使用してください。
- ●コール用押釦を1台しか接続しない場合は、コール押釦(終端用)を接続してください。
- ●親機～コール用押釦の配線可能距離は、親機～コール押釦(終端用)までで100mです。
- ●コール断線警報機能があります。
  コール用押釦を接続しない場合は、機能設定により回路機能設定を「A:使用しません」に設定してください。
  (➡設定マニュアル参照)



配線可能距離

注 ●親機～統合盤または警報監視盤・システム制御装置、分岐器～通話・映像制御盤、通話・映像制御盤～統合盤または警報監視盤の配線可能距離については、統合盤または警報監視盤・システム制御装置に付属の説明書を参照してください。
●親機～非常電源装置間の配線については26ページの「非常電源 配線系統図」を参照してください。
（共同住宅用（SHGT品番）の場合のみ）

配線区間 ＼ 使用電線	AE φ0.9線	HP φ0.9線	FCPEV φ0.9－2pr線	HP φ0.9－2pr線
親機～増設スピーカー	―	50m	―	―
親機～通話副親機 ※1	50m	―	―	―
親機～警報表示付ドアホン子器（Ⓕ、Ⓛ、Ⓘ、㊀ 端子）	―	100m	―	―
親機～分岐器 統合盤と接続した場合	―	―	―	50m
親機～分岐器 警報監視盤と接続した場合	―	―	50m	―
親機～住棟受信機	―	300m	―	―
親機～警報表示付ドアホン子器（Ⓛ、Ⓒ、SL、SC、ST、STC端子）～感知器	100m	―	―	―
親機～遠隔試験中継器（Ⓛ、Ⓒ、SL、SC、ST、STC端子）～感知器	100m	―	―	―
親機～ガスもれ警報器、各押釦、マグネットスイッチ（全長）、外部防犯セットスイッチ	100m	―	―	―
親機～過電流警報装置付住宅分電盤	10m	―	―	―

●※1：通話副親機を補助音響装置として接続する場合は、HP線を使用してください。

非常電源　配線系統図

●非常電源線は電圧降下があるため、下記のように施工してください。
●非常電源装置は、蓄電池の容量により、警戒・警報できる容量を下記のとおり保持しています。

非常電源装置の蓄電池容量	警戒・警報できる容量
6Ah	61住戸分（61住戸1時間警戒・5住戸10分警報）
8Ah	86住戸分（86住戸1時間警戒・5住戸10分警報）

ただし、MAX30住戸／1系統以内の配線としてください。

※共同住宅用スプリンクラー設備の音声警報装置（1時間警戒・5住戸10分警報・5住戸10分制御弁表示）として使用する場合は、6Ahタイプで60住戸分、8Ahタイプで86住戸分となります。

●非常電源装置の配線は 耐火電線（FP） を使用してください。火災の影響を受けない場所は 耐熱電線（HP） を使用することも可能です。

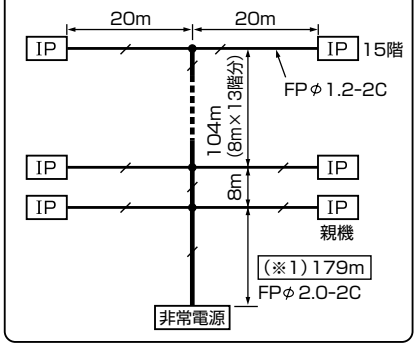
■配線長

幹線の配線長 ＼ 幹線の使用耐火電線		φ2.0	φ1.6
縦幹線送り	（※1）30住戸/1系統	179m	79m
横 渡 り	（※2）30住戸/1系統	176m	76m

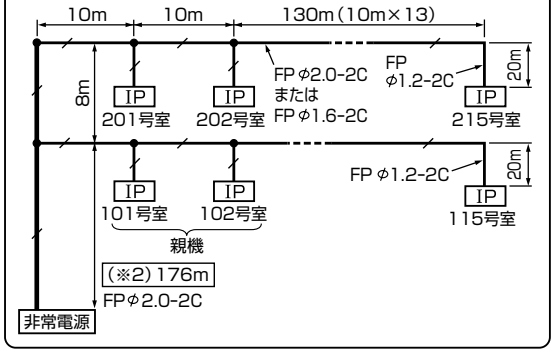
■配線系統図例

注 ●IP は親機を示します。
●住戸への引き込み線は親機内へ収納しやすくするために φ1.2線を使用してください。

縦幹線送りの場合ー30住戸



横渡りの場合ー30住戸



適合ガスもれ警報器

品　名	信号の種類
ガス当番都市ガス（天然ガス）用（CO警報付）（音声警報付）	有電圧出力型（平常時：DC6V／ガスもれ警報時：DC12V／不完全燃焼警報時：DC18V／機器または配線異常時：0V）

注 左記以外のガスもれ警報器（不完全燃焼警報機能（CO（一酸化炭素）警報機能）なし）を接続した場合、親機は下記のような動作をします。

＼	警　報　音		
	ガスもれ警報時（電圧出力11V～15Vの場合）	ガスもれ警報時（電圧出力16V～27Vの場合）	機器または配線異常時
ガス当番CO警報機能なし	ピッピッピッピッ 音声警報付のみ（ピッピッピッピッ、ガスがもれていませんか。）	ピッピッピッピッ 音声警報付のみ（ピッピッピッピッ、ガスがもれていませんか。）	―
親　機	ピッピッピッピッピッ、ガスもれです。（ガス灯およびガス表示も黄色点滅します。）	ピッポッ・ピッポッ、空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください。（換気表示も赤色点滅します。）	ピー

機能設定

親機(埋込型)・親機(露出型)の場合

注

下記のことを守ってください。守らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしません。

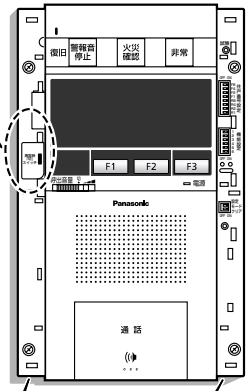
- ●設定スイッチによる機能設定時は必ずマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- ●親機の電源を入れてからマンションHAシステムに接続されている機器の電源を入れてください。
- ●親機の住戸番号の設定を行ってください。
- ●住戸番号の設定などは統合盤または警報監視盤・システム制御装置側でも設定が必要な場合があります。
  統合盤または警報監視盤・システム制御装置側で設定を行ってください。
  詳しくは統合盤または警報監視盤・システム制御装置に付属の設定マニュアルを参照してください。

異常時「切」スイッチ部

親機が異常な状態の一次処置として、使用してください。
すべての機能が停止します。
(異常時「切」スイッチは、化粧枠の下にあります。)

注 **はずした化粧枠を取り付けないでください。取り付けると自動的に電源が入ります。**

Ⓐ部(シール貼り部分)を⊖ドライバーなどで突き破って押してください。

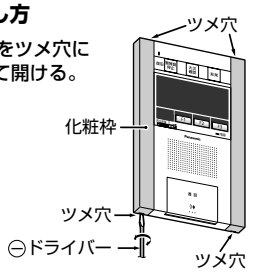


●共同住宅用3M型(SHGT品番)の場合を示します。

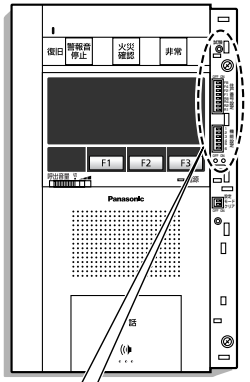
■化粧枠のはずし方

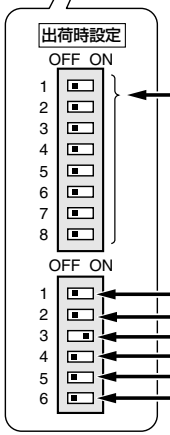
⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み、起こして開ける。

(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)



●図は共同住宅用3M型(SHGT品番)の場合を示します。

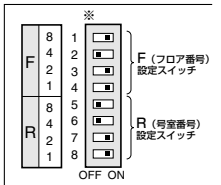




住戸番号の設定方法(スイッチ1～8)

1) F(フロア番号)設定スイッチで1～15階までの **フロア番号** を設定する。
2) R(号室番号)設定スイッチで1～15号室までの **号室番号** を設定する。
3) 全住戸の住戸番号の設定が完了したら、親機の電源を入れた後、統合盤または警報監視盤・システム制御装置側の電源を入れ、住戸登録をする。
4) 1), 2)で設定されたインターホン(住戸)がロビーインターホンおよび統合盤または警報監視盤・システム制御装置で登録される。
5) 住戸番号の設定を確認する。

注 **住戸を呼び出したとき、ロビーインターホンおよび統合盤または警報監視盤の呼出住戸番号が消灯する場合は、再度設定し直すか、または配線を確認してください。**



●上図の設定例の場合1103号室

15階または1フロアが15号室を超えるときの設定方法(スイッチ1：ページ設定スイッチ)

●住戸番号を設定し、「ON」側にする。 OFF ON 1

注 **統合盤または警報監視盤・システム制御装置の設定が必要です。**

■統合盤または警報監視盤・システム制御装置側で **Aパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1118号室」(03+15)

■統合盤または警報監視盤・システム制御装置側で **Bパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「2603号室」(11+15)

システム接続住戸数拡張の設定(スイッチ2)

●30階または1フロアが30号室を超える場合に「ON」側にする。このとき、スイッチ1(ページ設定スイッチ)は必ず「OFF」側にしてください。 OFF ON 2

注 **統合盤または警報監視盤・システム制御装置の設定が必要です。**

■統合盤または警報監視盤・システム制御装置側で **Aパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1133号室」(03+30)

■統合盤または警報監視盤・システム制御装置側で **Bパターン** に設定されている場合
●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「4103号室」(11+30)

ガス機器異常警報機能の設定(スイッチ3)

3 ■ ONのとき：ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生しても、警報しません。
■ OFFのとき：ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生したとき、警報します。

火災感知器配線断線警報機能の設定(スイッチ4)

4 ■ ONのとき：火災感知器配線が断線しても、警報しません。
■ OFFのとき：火災感知器配線が断線したとき、警報します。

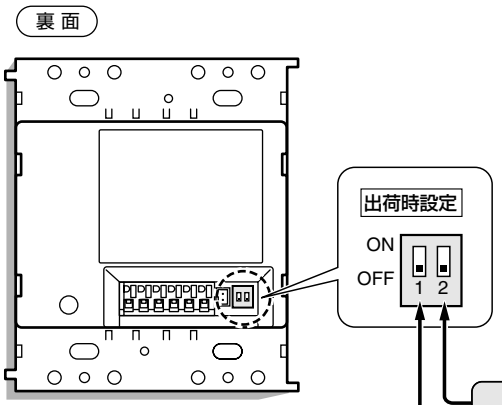
共同住宅用(SHGT品番)の場合	住戸用(SHGB品番)・一般集合住宅用(SHG品番)・住戸用(住戸完結)(SHGB品番)の場合
火災確認時間の設定(スイッチ5)	**使用しません(スイッチ5)**
5 ■ ONのとき：約5分設定 ■ OFFのとき：約2分設定 ●火災確認警報に切り替わるまでの感知器作動警報の鳴動時間を設定します。	OFF ON 5 ●必ず「OFF」側で使用してください。

共同住宅用(SHGT品番)の場合	住戸用(SHGB品番)・一般集合住宅用(SHG品番)・住戸用(住戸完結)(SHGB品番)の場合
代表移報の設定(スイッチ6)	**使用しません(スイッチ6)**
6 ■ ONのとき：火災確認警報鳴動時、代表移報します。 ■ OFFのとき：感知器警報鳴動時、代表移報します。 ●代表移報出力のタイミングを設定します。	OFF ON 6 ●必ず「OFF」側で使用してください。

通話副親機の場合

注 下記のことを守ってください。守らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしません。

●機能設定時は、親機の電源(専用ブレーカAC100V)を切った状態で行ってください。



使用しません(スイッチ2)

●必ず「OFF」側で使用してください。

通話副親機のアドレス設定(スイッチ1)

通話副親機の接続台数に応じて、下図のように設定してください。
最大2台まで接続可能です。

OFFのとき：1台目

ONのとき：2台目

施工後の確認方法

●施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。
戸外点検については警報表示付ドアホン子器(遠隔試験端子付)(別売)、遠隔試験中継器(別売)、外部試験器(別売)に付属の説明書にしたがって確認を行ってください。

注 ●戸外および管理室にも警報音が出ますので注意してください。
●戸外点検時には、親機から警報音は鳴りません。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626
© Panasonic Corporation 2012
8A2 R31 00001
M0906-90112A